



2007年元旦神戸市ハーブ園にて

あけましておめでとうございます 今年もどうぞよろしくお願ひいたします

あけましておめでとうございます。ロニー・アレキサンダーです。今年もポーポキ・ピース・プロジェクトのご参加・ご支援をよろしくお願ひいたします。

今回の「ポーポキ通信」は、昨年レポートが中心です。今年目標や活動については、次回に詳しくご報告したいと思っています。とりあえず、次のようなことを目指したいです。

1. 「ポーポキのピース・ブック」を出版すること！
2. 皆様と一緒に本を活用すること！
3. 皆様の方でさまざまな活用をしていただくこと！
4. 楽しく平和のために働きかけること！

よろしくお願ひいたします！

ポーポキちゃんが近畿地区国立大学長懇談会に登場！

12月15日に神戸大学で近畿地区国立大学長懇談会が開催されました。今年の当番校は神戸大学で、講師はロニー・アレキサンダーでした。参加者は近畿地区の国立大学14校の学長（もしくは副学長）と事務長（もしくは人権担当）。ポーポキと一緒に人権についてのワークショップを行ないました。事務員として担当された松岡和男さんに感想を書かせていただきました。

近畿地区国立大学長懇談会に参加して

神戸大学総務部秘書課総務係 松岡和男

写真：京都工芸繊維大学の総務課猪瀬主査

私は近畿地区の国立大学長懇談会でアレキサンダー先生が人権に関する講演をされた際にその運営事務をさせていただいた関係でポーポキちゃんを知りました。なれなれしく「ポーポキちゃん」なんて言っていますが、ポーポキちゃんについてはズブの素人です。

講演のアウトラインは先生から伺っていたのですが、進行の全てを聞いてたわけではなく事前にアレキサンダー先生が、本学から出席される先生に「賭けがない講演は講演じゃない」というような？名言をいただいていたとかで興味と不安が入り混じる中、講演を聴いていました。途中、アレキサンダー先生がだんだんのって来られて？学長方にポーポキちゃんの真似をお願いしたときは、背筋に冷たいものが走りました。



ポーポキの真似をする↑

振り返ると他のスタッフも顔が引きつっていたような・・・それでも、文句ありげな先生方も、絵を描くときは楽しそうにされていたのできっと皆様も楽しんでおられたと思います。貴重な体験ができたので、今回の会議でアレキサンダー先生に講演

作業中に皆さんは楽しそうでした↓



をしていただいていたよかったですな～と思いました。また、アレキサンダー先生も今までいろんなところでワークショップをされたかとは思いますが、もうあまり怖いものは、なくなったのではないのでしょうか。^^

実は、会議の進行に集中していたので、途中途中の話を充分聴けなかったのですが、ポーポキちゃんは、お茶目で賢い猫だったみたいでポーポキちゃんが自由に気持ちよく過ごせる空間が平和なのかと思いました。それは内なる平和かもしれませんが、それぞれの内なる平和が交わる場所ではお互いのカラーを尊重しあって、すごせたら、世の中平和でいいな～なんて思いました。自分の中での内なる平和を持

つとともに大学の事務をさせていただいているので大学の内なる平和であるとか構成員が自由に気持ちよく過ごせるためのお手伝いできればと思います。

アレキサンダー先生が今後ともご活躍されることを祈念いたします

松岡和男さん→



松岡さん、ありがとうございます。本当に緊張しましたが、とても貴重な機会を与えられて感謝しています。この経験を今後のワークショップなどに生かせるようがんばりたいと思います。猪瀬さん、写真どうもありがとうございます！（ロニー）

YMCA ピース・リーダーシップ会議でポーポキが活躍！

2006年11月10日-12日 YMCA ピース・リーダーシップ会議でポーポキのYMCA ピース・リーダーシップ（ピース・ページづくり）のワークショップを行ないました。私のお手伝いをしてくださった福田奈里子さんに感想を書きいただきました。ポーポキへの手紙です。（ロニー）

ポーポキへの手紙

福田 奈里子

（ピース・リーダーシップ・プログラム 実行委員）

ポーポキへ

2006年11月11日。六甲で開かれた「全国 YMCA ピース・リーダーシップ・プログラム」の中で、あなたの相棒のロニーさんが、とってもすてきなワークショップを開いてくれました。全国の YMCA に連なる人たちが集まったこのプログラムでは、いろんな切り口から、「平和」を考えていく—東チモールの現状をシェアしてもらったり、フィリピンの人々の暮らしに思いを馳せたり、セクシュアル・マイノリティーの方から、エイズの問題について語ってもらったり、核の問題に関するインプットを受けたり、ベトナム戦争の体験を語ってもらったり—とても濃い内容だったのだけど、いろんな出会いや、知らなかった事実や、「問題」の深刻さ・大きさを前に、どうしようもなく自分のちっぽけさ、想像力の足りなさを痛感して、ただ呆然と立ち尽くす・・・そんな気持ちになっていたのは、私だけではないのかな、と思います。そんな中で、あなたの語りかけと、ロニーさんの導きや問いかけは、コチコチに硬くなった自分の頭と心と身体を解放して、今までにないやり方で「平和」を感じるきっかけを与えてくれたような気がします。

この記事のすべての写真は日本 YMCA 同盟の提供





ポーポキのピース・ページを、私たちも作ってみました。自分達の好きな生き物について語りあいながら、身体を使ってその生き物になってみたり、絵やことばでその生き物を取り巻く状況を表現したり、その生き物にとっての「平和」を他の人たちに問いかけてみたり……。そうするうちに、私たちが頭だけで考えていた「平和」が、

国や政治レベルの問題から「私自身」の体験や生き方へとひきつけて考えられる（感じられる）ようになっていったような気がします。

「平和」って、どんな色？どんな味？どんなにおい？—— あなたがそう問いかけてくれることで、私たちの中に眠っていた感性が目覚め始めたんだと思うのです。そうして生まれた私たちのピース・ページを一つ一つ眺めていくうちに、自分達の中にある「平和」を五感を使って感じ取ることの楽しさ、そして何よりも、私たち自身がこんな風に自分の身体を使って「平和」を作り出していけるんだ！という希望がそれぞれの心の中に湧いてきたのです。

あなたと、あなたの相棒のロニーさんが、こうしてたくさんの人たちに「平和」の種を蒔いてくれていることに、心から敬意と感謝を表したいと思います。そして、このワークショップに集った人たちが、きっとそれぞれの場所で、自分の中にある種を育てながら、また別の人たちに小さな小さな平和の種を蒔いていることを信じています。



そうする力が、私たちの中にあるということ、ポーポキ、あなたが、私たちに教えてくれました。

福田さん、ありがとうございました！そして、参加者の皆様もどうもありがとうございます！おかげさまで楽しいワークショップでした。1977年に来日して、広島YMCAに勤務していた頃に知り合った懐かしい方も参加していただいて、うれしかったです。正直にいうと緊張もしましたが。（ロニー）



私にとってのポーポキ

今号の「私にとってのポーポキ」は最初からポーポキの本を支援してくださっている神戸 YMCA の遠藤浩さんです。最近の YMCA の取り組みを兼ねて書いていただきました。

ポーポキとの個人的出会いと、神戸YMCA の取り組み

神戸 YMCA 遠藤浩

ポーポキ本人(?)と私は、残念ながら出会ったことはありません。アレキサンダー先生の絵を通しての間接的な出会いが最初で、確か2005年の春だったと記憶します。ポーポキが亡くなったのはその年の2月と伺っていました。先生は深い悲しみの中で、ある意味でポーポキの霊を



とむらうように、ご自身のグリーンワークのように制作を始めておられた時機でしたから、絵本はまだ部分的で、

西神戸 YMCA でのポーポキ・ピースワークショップを国際リーダーがやっているところ。後ろの壁際にいるのが、遠藤です。

下書きのような感じでした。私はといえば、2003年3月の米軍によるイラク攻撃から2年、平和への取り組みに少し疲れを覚え、方向性を考えめぐねていた頃でした。

未完成の数ページを見せていただいた瞬間まっすぐ私の心の中に、ポーポキが入ってきた記憶はいまだに鮮明です。理屈抜きに直観が告げましたよ、これだぁ!と。「自分のすぐそばに平和はある。だから、そこから平和創りを始めようよ」ポーポキはそう語りかけてくれている気がしました。私も無類の猫好きだという側面も、もちろんあったと思います。

その年の秋、神戸Yの三宮本館バザーで、パワーポイントの力を借りて絵本のポーポキは、初めて公けの場に姿を現しました。集まった小さな子どもたちが難しいはずの平和について、ポーポキと先生に導かれて自分の感覚と言葉でいろいろしゃべっているのが新鮮でした。ポーポキの英会話ワークショップも、同じチャペルを会場に開催されました。その後の世界をまたにかけたポーポキの活躍は、皆さんもよくご存知のことと思います。

神戸 YMCA では、パワーポイントや岩波書店から出された DVD のアニメ・バージョンを用いたピース・ワークショップを、その後もたびたびアレキサンダー先生にご指導いただきました。そしてアレキサンダー先生の地元だからこそその展開を、どのようにすれば良いか考えた末、2006 年度の目標を、先生のご了承を得て先生が「いない」条件下で、



喜多紗代美さん作ピース・ページ
(神戸 YMCA 専門学院インターナショナルコミュニケーション学科)

ポーポキのお話しを使わせていただいたワークショップ展開にチャレンジすること、としました。先生が世界中でポーポキ行脚を始められ多忙を極められているなか、いち早くポーポキのメッセージにふれさせていただいた幸運と、親しくご助言をいただける近しさを生かし、地元・神戸では、先生に続いて私たちが自らやろう、というわけでした。十分な力のない者がやるメッセージの弱さを差し引いても、「いろんな人が出来る」ということを示して、運動として広がりを作ることも、ひとつの使命ではと考えたためでした。



遠藤作ピース・ページ

な動物を描き「ピース・ページ」を作るところまで行くことが出来ました。グローバルな視点とローカルな視点を持ち、そして何より本人たちのふだん着の平和への感性が生きた力作が提出され、ポーポキのスピリットが少し広がった気がしました。なお世界一かわいい我が家の黒太郎（くろねこ・8歳メス）をモデルに、私も学生と一緒にピース・ページを作ってみたので、ご笑覧ください。

手始めに、専門学校の秋授業「世界と日本」を持たせてもらったことを幸いに、日本 YMCA 同盟が出してくれた『ポーポキのピース・ブック』をテキストに、自分でいろいろ試させていただきました。全8回、こけた回もありましたが、ポーポキのお話し自体が持つパワーに助けられて、学生たちが自分で好き

冬には国際リーダーたちが、先生から「リーダー・トレーニング」を受けた後、西神戸地域活動センターと宝塚センターで2回にわたり、子どもたちを対象に「ポーポキのピース・ワークショップ」を行いました。大きくカラーで引き伸ばしたピース・ページの紙芝居の抜粋読み聞かせ（子どもたちと対話をしながら読んでいく）を前半のヤマに、子どもたち自身がグループの共同でネコたちの「遊び場」を描くワークを後半のヤマに、プログラムを展開しました。「平和」と「遊び場」との関連づけがやや弱く課題も残りましたが、今後もミーティングを重ね、アレキサンダー先生のご助言をあおぎながら、チャレンジを続けたいと思っています。



紙製絵本作りプロジェクトにも、神戸 YMCA として今後も協力していきたいと思っています。もちろん、私個人としても。そして一日も早く、紙製絵本の姿になったポーポキに多くの人が出会えるように、と強く願っています。

宝塚 YMCA で子どもたちとポーポキ・ピースワークショップを行う国際リーダーたち。

遠藤さん、ありがとうございました。でも、黒太郎ちゃんが世界一かなあ・・・。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace@yahoo.co.jp



<http://popoki.cruisejapan.com>

東京事務所 港区芝 1-4-9 平和博物館を創る会

Tel: 03-3454-5859, Fax: 03-3454-9800

郵便振替口座番号 00170-9-593927

口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト

ポーポキ平和募金は一〇 1500 円。何〇でも結構です。（なお、〇数・金額にかかわらず、本はひとり1冊となります。ご了承ください。また、友だち同士や家族でまとめて2〇以上お送りくださる場合は、参加人数か参加者名を「通信欄」に明記ください。）



お友たちにも声をかけてくださいね！